

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	1
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
6次産業化の推進と拠点の整備【特区関連】	農家・事業者の6次産業化を促進する加工機能・ノウハウを提供する仕組みを確立するとともに、農家・事業者らが行う6次産業化への取組を推進する。		6次産業化への取組農業者・経営体数	15経営体(累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	2	5	8			累計

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	儲かる農業支援事業	農林振興課	農産物の安定生産、品質向上、6次産業化等の推進のため生産力強化等の儲かる農業モデル形成を支援する。	○
	6次産業化施設整備補助件数	4件	要望調査の段階から事業毎の評価を行い、予算の範囲内で事業を実施する。予算編成前から事前周知及び要望把握を行う。	2 経営体
2	6次産業化支援センター施設管理費	商工観光課	6次化・農商工連携の推進支援、創業・事業展開支援のため、活動の場の提供と6次化の普及・促進、相談を行う。	○
	本施設への入居事業者数	2社	進捗・執行状況把握のためモニタリングと、利用者満足度調査を実施し必要な助言・指導を行う。県、商工会等関係機関と連携し、市内6次産業化の推進と入居事業者の増加を目指す。入居事業者の市内での本格的操業と自立・安定的な経営を促すため、奨励制度をはじめとした各種支援を行う。	0 経営体
3	地域経済循環創造事業	商工観光課	地域資源を活かし新たな雇用と経済循環を図るため、先進的な事業を実施する事業者に補助金を交付する。	○
	補助件数	1件	速やかに事業着手ができるように、広報を強化し計画の早期の把握に努める。情報発信及び情報収集に努め、計画的な事業実施を行う。	1 経営体
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPI推移は上がっているものの、目標達成には事業改善などの更なる努力を要する。各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。特区の効果が市民にとってはわかりにくい。数字等によりわかりやすく示すこと。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	2
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る				◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要				KPI		目標値	
多様な起業・創業の促進	農業・林業・観光・子育て・福祉分野をはじめ幅広い起業・創業の立ち上げを促進するとともに、販路拡大、技術・業務提携、資金調達など一貫した成長発展を促す仕組みを構築する。				起業・創業支援制度を 活用した起業・創業件数		当初	30件(累計)
							2次	45件(累計)
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考		
	5	13	32			累計		

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	創業・事業承継支援事業	商工観光課	創業・事業承継を促進するため、創業塾の開催による知識の習得と創業・第二創業時の経費の補助を行う。	○
	起業者支援事業による補助件数	18 件	実績を大きく伸ばした前年度の事業実施方法を踏襲しつつ、周知の強化を図る。市内商工業者の最大の課題である事業承継の契機として補助金が有効活用されるよう、商工会及び金融機関等と連携して事業を進める。	18 件
2	企業等振興奨励金事業	商工観光課	事業拡大や創業、新商品開発等への取り組みを支援する。	○
	事業拡充、新規創業、販路開拓等に対する奨励措置件数	66 社	規則等に明記のない案件に対応するため内規を作成事業者や商工会等から聞き取りを行い、時勢に必要な支援制度とすべく、新たな奨励措置を設ける等検討する必要がある。	1 件
3	養父市企業支援センター事業(拡充分)	商工観光課	経営革新や事業拡大等の支援のため、景況調査の実施とマッチングサイト「やぶビズ」を管理運営する。	○
	やぶビズ新規登録事業者数	15 社	マッチング促進のため内容の拡充を行った。新たな機能を実装させ、マッチング機能を強化する。	- 件
4	養父市企業支援センター事業(既存)	商工観光課	商工業者の経営革新や事業拡大の支援のため、専門家派遣による相談業務を行う。	○
	専門家派遣による相談件数	74 件	経営改善等の相談は商工会職員で対応するよう依頼し、市内経済規模の拡大に繋がるよう引き続き改善を図る。	- 件
5	6次産業化支援センター施設管理費(再掲)	商工観光課	6次化・農工商連携の推進、創業・事業展開支援のため、活動の場の提供と6次化の普及・促進、相談を行う。	○
	本施設への入居事業者数	2 社	進捗・執行状況把握のためモニタリングを月1回程度実施し、利用者満足度調査を実施し必要な助言・指導を行う。第三者の視点での評価指標化と、利用者の声を広く取り入れ、提供する市民サービスの向上を図る。	- 件

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPIを達成したため、2次目標値を設定し、より効果を引き上げていくこと。事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	3
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
農業を担う人材・経営体の育成【特 区関連】	新規就農者への支援の充実、雇用の受け皿となる法人化 を促進することにより、農業の担い手を育成する。また、お おや高原・轟高原などの特徴あるロケーションでの農業の 担い手を呼び込む仕組みを構築する。		新規就農者・経営体数	20人(社) (累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	7社/0人	11社/3人	12社/7人			累計

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	担い手経営発展支援事業	農林振興課	農業経営の法人化及び集落営農の組織化の取組み支援の ため、補助金を交付する。	○
	農業経営体の法人化数	1 社	県が実施するセミナーを活用し、農家を支援。一部の農家 でも組織化や法人化へ強い意欲を示される地域に対し個別 の説明会や相談会を実施することで、農業の担い手不足につ いて検討を促す。	1 社
2	担い手総合支援事業(農業次世代 人材投資、経営体育成支援事業)	農林振興課	担い手の確保等のため、新規就農者の確保・定着、規模 拡大に向けた設備導入を支援。	○
	新規就農者数	3 人	収納状況報告等により営農課題に対応。関係機関が一体 となって事業対象者のサポートを行い、交付終了後も安定した 営農行える指導を実施。対象経営体に対し個別の担当者を 設け、経営拡大についてより詳細に計画を作成する。	3 人
3	担い手総合支援事業(農学セ ミナー)	農林振興課	農業の専門的な知識を学べる場として、但馬農校・鳥取 大学・関西大学と連携し、講義を行う。	○
	農学セミナー受講生	14 人	これまでの実施内容と参加者からの意向に対応し、農業 経営学の講座回数を増加させた。募集時により興味を持って もらえるよう講義内容を提示。年齢制限をせず、意欲ある 受講生を受け入れる。	-
4	養父市Lプロジェクト事業	農林振興課	女性の農業分野への進出と農業の活性化のため、女性 向け草刈機の普及拡大を通じて農業の実践を奨励する。	○
	農業女子・農業を志す女子に対する 草刈機の安全講習会の参加者数	13 人	アグリ女子会との連携による女性向け作業着の開発に 変更した。「アグリ女子会」の共同参画により、女性向け の機能的な作業服や農業用品の研究開発に取り組み実用化 を支援する。さらに、「アグリ女子会」の協力のもと、 これまでのLプロジェクトの取り組みの成果を西日本エ リア全域にチラシや媒体を通じて広域的にPRする。	-

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 多様な事業で構成されており、妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗でいけばKPI達成の見込み。引き続き各事業の円滑な進捗を図ること。 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 特区により、市全体が変わってきていることを実感させることが必要。
--------------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	3
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
農業を担う人材・経営体の育成【特 区関連】	新規就農者への支援の充実、雇用の受け皿となる法人化 を促進することにより、農業の担い手を育成する。また、お おや高原・轟高原などの特徴あるロケーションでの農業の 担い手を呼び込む仕組みを構築する。		新規就農者・経営体数	20人(社) (累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	7社/0人	11社/3人	12社/7人			累計

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
5	耕作放棄地再生対策事業	農地政策課	担い手への農地確保、農業経営の開始に資するため、農地 へ再生する整備・土地改良費用に補助金を交付する。	○
	耕作放棄地再生面積	141 a	補助率を国・県と同率へ引き上げた。市広報・HPでの広域的 な情報発信のみでなく、農業委員・推進委員を通し個別での 情報発信を進めていく	-
6	小さな(1アール)農家活動応援事業 (再掲)	やぶぐらし課	農ある暮らしの実現のため、空き家とそれに付随した農地を 取得し農業を始めた方に補助金を支給する。	○
	小さな農家活動応援事業補助件数	1 件	空き家付き農地の許可を受けた者に対し、関係部署等と連 携し、PR及び営農相談(希望者)を行う。空き家活用意向調 査において、農地の意向も確認することで、農地付き空き家 の掘り起こしを行っていく。	1 件
⑦	GAP認証継続支援事業	農林振興課	GAP認証更新に要する諸費用を助成し、第三者認証による 信頼の確保と持続可能な農業生産を目指す。	-
	GAP認証継続取得者	-	新規事業。今年度の状況により、改善を検討する。	- 件
8				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	
--------------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	4
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
企業立地の促進と規模拡大・第2創業などががんばる事業者の支援	新たに立地する企業への支援や第2創業、事業拡大、設備の近代化、見本市への出展、新エネルギー設備の導入など頑張る市内事業者を支援し、商工業の振興を図る。		企業立地・規模拡大等支援した事業者数	100社 (累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	21社	42社	73社			

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	企業等振興奨励金事業	商工観光課	事業拡大や創業、新商品開発等への取り組みを支援する。	○
	事業拡充、新規創業、販路開拓等に対する奨励措置件数	66社	規則等に明記のない案件に対応するため内規を作成事業者や商工会等から聞き取りを行い、時勢に必要な支援制度とすべく、新たな奨励措置を設ける等検討する必要がある。	31社
2	養父市企業支援センター事業(拡充分)(再掲)	商工観光課	経営革新や事業拡大等の支援のため、景況調査の実施とマッチングサイト「やぶ Biz」を管理運営する。	○
	やぶ Biz新規登録事業者数	15社	マッチング促進のため内容の拡充を行った。新たな機能を実装させ、マッチング機能を強化する。	-社
3	養父市企業支援センター事業(既存)(再掲)	商工観光課	商工業者の経営革新や事業拡大の支援のため、専門家派遣による相談業務を行う。	○
	専門家派遣による相談件数	74件	経営改善等の相談は商工会職員で対応するよう依頼し、市内経済規模の拡大に繋がるよう引き続き改善を図る。	-社
4	商工業融資事業費	商工観光課	中小企業者への事業拡大や創業、新商品開発等への取組支援のため、債務負担保証、利子補給を行う。	○
	中小企業融資制度	29件	商工会や金融機関との情報交換会を開催し周知と利用促進を図る規則、条例に記載のない案件に対応しなくてはならないことがあるため、国や県、その他関係団体の制度を参考にしながら、制度融資についての内規を作成する。	-社

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策の方向性に直接効果があり、妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗でいけばKPI達成の見込み。引き続き各事業の円滑な進捗を図ること。各事業について今後の方向性に沿って必要な改善を行う。企業戦略については、金融機関等と一緒に実験的な取組を行っていくことも必要ではないか。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	4
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
企業立地の促進と規模拡大・第2創業などがんばる事業者の支援	新たに立地する企業への支援や第2創業、事業拡大、設備の近代化、見本市への出展、新エネルギー設備の導入など頑張る市内事業者を支援し、商工業の振興を図る。		企業立地・規模拡大等支援した事業者数	100社 (累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	21社	42社	73社			

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
5	6次産業化支援センター施設管理費(再掲)	商工観光課	6次化・農商工連携の推進支援、創業・事業展開支援のため、活動の場の提供と6次化の普及・促進、相談を行う。	○
	本施設への入居事業者数	2 社	進捗・執行状況把握のためモニタリングと、利用者満足度調査を実施し必要な助言・指導を行う。県、商工会等関係機関と連携し、市内6次産業化の推進と入居事業者の増加を目指す。入居事業者の市内での本格的操業と自立・安定的な経営を促すため、奨励制度をはじめとした各種支援を行う。	- 社
6	養父市ブランド創出事業費	商工観光課	魅力ある地域資源を発信し地域経済の発展と活性化のため、地域ブランド品として認定し販路開拓等を支援する。	○
	ブランド認定品の新規登録数	5 点	HPの更新、制度及び認定品の普及啓発を行う。市の商品開発等に係る制度の活用を促進し、その商品を太鼓判申請に誘導するなど各種取組みと連携し、認定品の充実を図る。また、広報PRIにより、制度及び商品の周知を図る。	- 社
7	企業誘致促進事業費	商工観光課	経済及び雇用の活性化のため、市外企業等に対し産業立地施策等をPRし、当市への企業進出を促す。	○
	誘致フェアへの出店	1 回	マッチングサイト(やぶビズ)に情報を掲載し発信し、空き工場や事業用地の情報収集と掲載情報の充実を図る。	- 社
⑧	販路開拓事業助成金	商工観光課	販路拡大などの取組を行う市内の小規模事業者に対する支援により、産業の振興及び地域経済の活性化を図る。	○
	補助件数	20 件	新規事業。利用促進のためPR等を実施する。	- 社

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
創生本部コメント				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
創生本部コメント				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	5
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
近代化産業遺産の活用	兵庫県が推進する「鉱石の道」プロジェクトと連携し、明延鉱山「一円電車」の復活等による観光資源に磨きをかける取組を推進する。		明延地区の年間来訪者	100,000人		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	13,693人	12,613人	14,990人			

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	明延活性化事業	大屋地域局	地域経済の活性化、雇用機会の増大等を図るため、一円電車の運行や探検坑道等の地域振興事業を進める。	○
	一円電車安全運転講習会受講者	3人	スタッフ講習会を実施し、運行機会を増やす。「日本遺産」への認定を活かし、地域に散在する貴重な鉱山遺産群の保存と再生、活用による活性化を推進する。そのためにも核となる一円電車の復活運行の早期実現に向け新路線の線路敷設に向けての調査・設計業務を実施。また、運行スタッフのスキルアップや探検坑道ガイドの養成、確保は継続して実施する。	14,990人
2	あけのべ自然学校運営事業	商工観光課	教育活動推進と地域の明延地域の交流人口の増加のため、施設の管理運営、産業遺産群の保存活用を行う。	○
	自然学校施設利用者数	2,945人	利用団体フォローと見学機会の増加に向け新規顧客層獲得のため振興公社や観光協会と連携し広報活動を行う。また、探検坑道の見学会の質の向上とともに、新たな顧客層獲得に向けて、自然学校だけでなく、(株)おおよ振興公社や観光協会と連携した広報宣伝活動を行っていく。	(14,990)人
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの見直しを要する。 プロジェクトチームが策定した計画を基にバックキャスト的に取り組むこと。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	6
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る				◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要				KPI	目標値
養父型観光資源のマネジメント手法の活用	養父市の資源を活用した着地型観光の推進とあわせ、観光業の経済効果と住民の暮らしを連動させるためのマーケティングと観光戦略づくりの体制を構築し、新しいツーリズムを興す。				マーケティング調査に基づいた企画ツアー件数	10本 (累計)
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	0本	0本	1本			累計

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	養父市版DMO推進事業	商工観光課	大屋の観光資源、地域産業を活かした持続可能な観光事業のため、顧客データ分析、情報発信等を実施。	○
	おおやホッピングクーポン会員数	4,153 人	対象の観光施設を大幅に増やし、周遊観光を促進するWebサイトの運営を通して、地域全体の観光動態調査並びに顧客データの収集を行う。また、地域の観光客の大半を占めるアウトドア関連施設を訪れる観光客をその他の観光施設に誘客する施策を実施し、効率よく大屋町内の観光施設の集客増を図る工夫を行う。	1 本
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の強化等努力を要する。 養父市版DMOが立ち上がり、目標達成に向けて関係機関と連携して誘客を強化すること。 個別開発に留まり面的な開発に繋がらないまま終わらないよう、地域全体の開発へ広げること。
----------------	---



まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	7
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要		KPI	目標値
伝統産業のイノベーションプロジェクトの推進	伝統産業であった養蚕産業を従来のシルク製品にとどまらず、美容健康分野、医学的利用も視野に入れた新たな産業として再生の可能性に向けた検討を行う。また、養蚕と関わりの深い養蠶産業の再生もあわせて検討する。		養蚕関連事業に取り組む事業者数	1事業者
KPI推移	H27 0事業者	H28 0事業者	H29 0事業者	H30 H31 備考

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	養蚕プロジェクト事業	企画政策課	養蚕の再評価を基に新産業を興すため、地域振興計画の策定、他市や大学等と連携し事業所を設立する。	○
	研究会の開催	0回	ワークショップ型のイベントを定期的に開催する。研究会という形でなく、他市や大学・企業との連携を強化していく。養蚕関連事業で新産業を興すメリットが養父市には薄い。まずは、「養蚕関連事業による所得を得ることが出来る人を作る」といったことを事業内容にしたい。	0事業者
2	伝統的建造物景観調査事業費	社会教育課	文化財の選定に向けて調査事業を推進する。	—
	建造物調査報告書の作成	1件	重点建に決定し、既存施設やイベント、保存会の育成など、できるところから観光資源としてPRする。	-
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	やや高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しを要する。昨年度まで研究機関や企業と協議を重ねプレイヤーの検討を進めたものの、現状では養蚕に関わる新産業を興すには時期尚早であることが判明したため、養蚕をテーマとして既存の事業者が所得を得ることを主眼にして進めていく。時期尚早というより手遅れの状態。商売形態は昔と変わっていくことを理解し見直すこと。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	8
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
やぶぐらしツーリズム推進拠点の整備【特区関連】	旧養蚕住宅を宿泊施設としたり、古民家や空き民宿等を活用するなどし、やぶぐらしを実感できる施設整備等の取組を支援し、地域の農産物の提供、農を通じた癒しによる滞在・体験型ツーリズムを推進する。		古民家などを活用した新たなツーリズム施設数	5施設 (累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	4件	4件	4件			累計

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	高齢者生きがい活動支援事業	農林振興課	農業による高齢者の生きがいづくりの推進のため、空き家再生による宿運営と宮農等の体験機会の提供。	○
	施設利用者数	278人	収支の向上を目指し、補助金がない場合での事業継続の検討を図る必要がある。農業体験を通じた交流人口の拡大等の課題を解決するため、30年度から市民農園制度を利用した「わくわく学ぶ農活事業」をスタートする。	0件
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	概ねある	概ねある	やや高い	一部見直し
	創生本部コメント 稼働率について不安がある。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗でいけばKPI達成の見込み。引き続き各事業の円滑な進捗を図ること。既存施設のポテンシャルを活かし稼働状況を高めていくこと。
----------------	--